

教育委員会だより

私たちの大切な宝である子どもたちが、夢や希望を持ち、持続可能な社会づくりの担い手となるよう、教育委員会や各学校はさまざまな取り組みを行っています。その「今」を紹介します。

学校再開によせて

大牟田市教育委員会
教育長 安田 昌則

市民の皆様には、日頃から本市の教育に対しご理解とご協力をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

とりわけ、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために学校が臨時休業となり、保護者や地域の皆様には大変なご心配とご負担をおかけしました。幸い、子どもたちの感染はなく、5月下旬の分散登校を経て、6月1日から通常の教育活動を再開することができました。これもひとえに、家庭や地域でのご指導や見守りのおかげであると深く感謝しております。

さて、今回の感染拡大は、教育に大変厳しい影響を及ぼしました。夢と希望に胸をふくらませ入学した1年生や、新しい学年への期待を抱いて進級した皆さんは、新学期早々、

学校で友だちや先生と一緒に過ごすことができなくなっていました。また、子どもたちに会えなくなつた先生たちは、とまどいの中、とてもさびしく思っていました。しかしこれは、子どもたちの命と健康を守ることを何よりも優先したためでありました。

新型コロナウイルス感染症は、簡単に終息することはないと言われております。今年度は、例年のように学校行事を行うことは難しく、子どもたちが楽しみにしている夏休みも短くせざるを得ません。それでも、この厳しい状況に適切に対処し、かけがえのない子どもたちを誰一人取り残すことなく、健やかな学びが続いていくようにしていかなければなりません。

このような認識に立ち、教育委員会と学校は、「新しい生活様式」も踏まえながら、着実に教育活動を実施してまいります。引き続き皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

学び舎に子どもたちの笑顔が帰ってきました

2カ月あまりにわたつた臨時休業が終わり、学校に子どもたちの笑顔と歓声が帰ってきました

まず分散登校から

臨時休業は5月15日までとし、18日から中学校で、21日から小学校で分散登校を実施しました。学年別や地域別に分けて登校日を設けるなどして学校内が3密（密閉・密集・密接）にならないよう工夫し、また、手すりやドアノブ、机・椅子などの消毒を行い、感染防止を徹底したうえで授業を行いました。

関わり合いを大切に

6月1日から一斉登校とし、通常の教育活動を再開しました。子どもたちからは、「長い間友だちに会えずにさびしかったので、よう

やく学校が始まってうれしい」「早く元のような生活リズムを取り戻して頑張りたい」などの声が聞かれました。

学校教育は、教師と児童生徒の、また、児童生徒同士の関わり合いがとて大切で。人と人の間に一定の距離をとるなど、教育活動に制約を受けることが今後もあり得ますが、できる限り関わり合いの機会を確保しながら、子どもたちの成長を支えていきます。



上・中／小・中学校の分散登校の様子 下／宅峰中学校生徒会による、市民全員でこの危機を乗り越えていこうという願いを込めたメッセージ

大牟田市学校教育振興プラン2020～2023

～第2期大牟田市教育振興基本計画～

教育委員会は、本市の教育の基本理念や基本方針を定めた「大牟田市学校教育振興プラン2020～2023」を策定しました。

本市の教育の振興に関する基本計画

「大牟田市学校教育振興プラン」は、教育基本法に基づく本市の教育の振興に関する基本的な計画であり、その計画期間は、総合計画「まちづくり総合プラン」と同じく、令和2年度から5年度までの4年間です。

取り組む施策

基本理念と基本方針の実現のため、次の5つの基本施策の推進に取り組めます。

- ◆未来を創る児童生徒を育成する特色ある学校教育の展開
- ◆子どもの個性や能力を伸ばし、可能性を広げる
- ◆学校教育環境の充実
- ◆安心して学べ、地域とともにある学校づくり
- ◆人権に関する教育・啓発の推進



教育委員会と学校は、SDGsの達成に貢献することを目指して、ESDを推進していきます



子どもたち一人一人の創造性を育む教育ICT環境を充実させていきます

ICTを活用して学びの可能性を広げます

～「一人一台端末」環境の整備～

教育環境を充実する上で本市の課題となっていたICT(情報通信技術)化について、国の財政支援等を活用し、早期実現を目指します。

全児童生徒の学習用コンピュータの整備を目指します

文部科学省は、昨年12月に打ち出した「GIGA(ギガ)スクール構想」で、児童生徒向けの一人一台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備するという考えを示しました。
そこで本市では、国の財政支援等を活用し、今年度中に、小学1年生から中学3年生までの全ての児童生徒一人一台の学習用コンピュータや各教室の大型提示装置(電子黒板)の整備を目指します。

端末は基本的に学校内での授業で活用します。今後、オンライン授業

「一人一台端末」の環境で実現が期待されること

一斉学習	● 教師は授業中でも一人ひとりの反応を把握できる ⇒ 子どもたち一人ひとりの反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能に
個別学習	● 各人が同時に別々の内容を学習できる ● 各人の学習履歴が自動的に記録される ⇒ 一人ひとりの教育的ニーズや、学習状況に応じた個別学習が可能に
協働学習	● 一人ひとりが記事や動画などを集め、独自の視点で情報を編集できる ● 各自の考えを即時に共有し、共同編集ができる ⇒ 全ての子どもが情報の編集を経験しつつ、多様な意見にも即時に触れられる

■ 問合せ 教育委員会事務局総務課
教育みらい創造室 (☎412867)